

2025

大ナゴヤ・ユニバーシティー・ネットワーク
2025年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2025

あなたがいれば、カタチが変わる

ナゴヤを舞台に、 発見と創造で、 一人ひとりの世界を変える

これまでの活動やプロジェクトでは、「まち」「学び」「コミュニティ」をキーワードに、ナゴヤを舞台として、発見と創造を通じて、一人ひとりの世界を変えていくことに取り組んできました。

ここ数年は、活動を続けていくことに精一杯で、新たな挑戦を生み出す余裕を持てない時期もありました。

そんな中で運営体制を見直し、これまでの活動を整理・再編しながら、2026年度に向けて、さまざまな形で積み重ねてきた「まち」に関わる実践をまとめる準備を進めてきました。

開校当初から大切にしてきた「ナゴヤを知る」という視点に、あらためて注力していきます。

また、もう一つ大切にしてきた、誰でも気軽に学べる場である「大ナゴヤの日」は、開校当初からの流れを引き継ぎながら、「問い」を起点につなげた仲間とともに学び合い、人と人とがつながっていく場として続けていきます。

学び続けることで、一人ひとりの見えている世界は変わっていきます。その積み重ねが、やがてまちや社会のかたちをつくっていくのではないのでしょうか。

「あなたがいれば、カタチが変わる」

あなたが、このまちの主演です。
「何をやるか」よりも、「誰とやるか」を大切に。

一人ひとりの思いを大切にしながら、これからも場をつくり続けていきます。

NPO法人
大ナゴヤ・
ユニバーシティ・
ネットワークの全体像



Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2025

もくじ

05 自分たちでつくる

- 06 大ナゴヤ大学
- 07-09 大ナゴヤの日
- 10-11 まちシル
- 12 キャンパスライフ／はたらく課

13 まちの人と一緒につくる

- 14-15 やっとかめ文化祭DOORS
ODORIBA
城子屋
SOCIAL TOWER PROJECT
MINATO FINDER
「お城note」コラボ企画

16-17 大ナゴヤに関わる人 ワタシの気づき、変化

18 DNU理事より

19 財務報告

自分たちでつくる

ナゴヤのまちをフィールドに、人と人との学びを通し、つながる。

世代も職業も異なる多様なメンバーが、

ボランティアスタッフやコーディネーターやエディターとなって

主体的につくり上げている事業がいくつもあります。



About

大ナゴヤ大学

「大ナゴヤの日」・「まちシル」・「城子屋」など、多様なテーマで「学ぶ・学び合う」場をひらき、「問いを通じて、新しい視点や未来の可能性と出会う」授業をつくっています。

学びの種は、
まちにあふれている

大ナゴヤ大学には校舎がありません。まちがまるごとキャンパスです。まちの人が先生に、学びたい人が学生となり、ゆかりの場所が教室に変わります。授業のテーマは、暮らしや働き方、まちの文化・歴史、アート、農業、カルチャー、ものづくり、スポーツなど多種多彩。つねに何かを生み出し続けているまちは、学びの宝庫です。

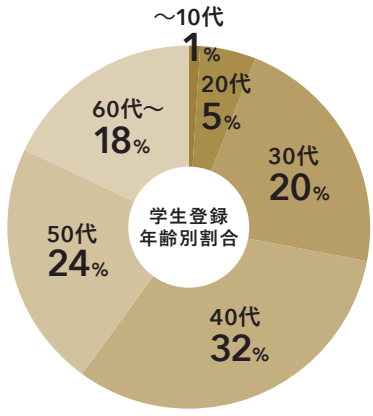
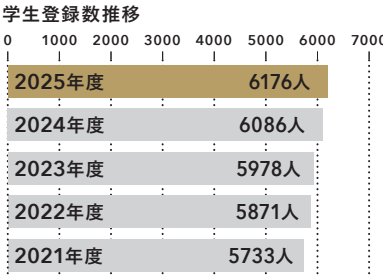
学ぶは面白い。
学びたいときに、学ぼう

興味のあることを学ぶうちに、今まで知らなかったことに気づく。知らなかったことを知りたくなり、新たな学びに足を踏み入れる。好き・楽しいから始まる「学び」は、「遊び」との境界があいまいになるくらいワクワクするもの。大ナゴヤ大学は、年齢に関係なく学びたいときに学べる場として、門戸を開いています。ワクワクしたその瞬間から学び始めましょう。

1人目の
「学び手」になる

1人目の学生として「自分が受けたい授業をつくる」という考えを大切に、たくさんのコーディネーターのみなさんと授業づくりをしてきました。個人の好奇心を社会へ共有し、学生同士が学び合いながら、人や地域との新しい関係性や探究が生まれる授業を、これからみんなでつくり続けていきます。

誰でも学生
学生登録数 **6176**人



まちじゅうがキャンパス
教室 **430**カ所

まちにいるあの人！
先生 **790**人

「面白がる視点」で授業づくり
授業コーディネーター **92**人

垣根なく集まっています
ボラスタ **327**人

2025年度実績

年間授業総数
2023年度：39コマ
2024年度：35コマ

35コマ

のべ授業参加者数
2023年度：471人
2024年度：411人

437人

About

大ナゴヤ大学 大ナゴヤの 日

紹介ページへ



大ナゴヤの日とは？

「まだ見ぬ、面白いに出会う」をキーワードにさまざまな授業を企画してきました。多様なテーマを扱うことで偶然の出会いを生み、「いつもの私」の中にはないものに出会うきっかけづくりをしています。「ふと心惹かれた世界をちょっとのぞいてみたら、知識や価値観との出会いで自分が変わった。新しい学びの瞬間は、そんな気軽なものであって欲しい」という想いから、開催日を第2土曜に固定し、参加費は、無料にしています。

みんなでつくる

大ナゴヤの日の授業は、たくさんのボランティアスタッフと一緒に運営しています。授業をよりよくするための振り返りを毎月行うなど学び合いの場づくりを通じ、自分の思いを言葉にする機会も多く、“ありたい”自分に気づけるコミュニティにもなっています。

「大ナゴヤの日」授業 PICK UP

銭湯へ行こう！八千代湯編
～銭湯の裏側見学＆若き店主と銭湯談義を楽しもう～

◎開催日時 | 2025年4月12日(土) 11時50分～13時45分 ◎教室 | 八千代湯
◎先生 | 岡村淳徳(株式会社yachiyo 代表取締役 八千代湯 五代目店主)
◎授業コーディネーター | 河津一輝

西区の銭湯を教室に授業を開催。銭湯経営歴1年の若手店主を先生に、バックヤードを見学して裏話を聞かせてもらったり、参加者も交えて銭湯談義をしたり。授業後には一番風呂にも入って、銭湯の魅力にどっぷり浸かる授業となりました。



大人だから分かる魅力的な絵本の世界
@かさでら図書館

◎開催日時 | 2026年2月14日(土) 10時30分～12時 ◎教室 | かさでら図書館(かさでらのまち箱内)
◎先生 | 坂本直子(私設「casa della biblioteca かさでら図書館」管理者/店舗の設計施工管理会社運営)
◎授業コーディネーター | 三宅由美子

「かさでら図書館」管理者の坂本さんを先生に、大人だからこそ楽しめる絵本のおもしろさや魅力について話をお聞きました。学生のみなさんもお気に入りの本を持ち寄って、互いの「好き」を共有できる授業となりました。



豊田市でホップを育てる人たち
～豊田のホップを使ったビールを味わいながら～

◎開催日時 | 2026年2月14日(土) 14時～15時30分 ◎教室 | クリばこ
◎先生 | 加納実久(新とよパークパートナーズ)、小林一平(のびしろ)
◎授業コーディネーター | 小林優太、西村大典、大野恭子

豊田でホップを育てる2名を先生に、ホップの効能や日常での楽しみ方、過疎地域でのクラフトビール作りへの挑戦について話をお聞きました。ホップという植物を通じて、地域や人とのつながりを体感できる時間となりました。



学び合いの場から生まれるコミュニティ

「みんなでつくる」を大切に、授業という“学び”の場をボランティアスタッフ(=ボラスタ)のみなさんと一緒につくってきました。

毎月第2土曜の「大ナゴヤの日」を中心に、授業後には「振り返り」の機会を設けるなど、メンバー間での“学び合い”の場としての機能も持たせています。さらに、同日にボラスタ同士がお互いをもっと知るための懇親会なども開催。定期的に人が集まり、ゆるやかなつながりが広がっていく環境から、コミュニティが生まれています。

このコミュニティでは、次の2つの言葉を大事にしています。

「あなたの好きも みんなの好きも たいせつ」

「学び合いから生まれる 次の一歩」

“好き”という感覚を大切にするなかで、“行動してみる”文化が育まれ、2025は、2名のメンバーが新たに授業コーディネーターになりました。



ボラスタ行動指針

- 1 やりたいという気持ちを大切に
- 2 自分の思いを言葉にする
- 3 相手を尊重する
- 4 学び合う姿勢をもつ
- 5 何事も面白い

主な活動

ボラスタ説明会

年に数回、ボランティアスタッフ募集説明会を企画・運営しています。「大ナゴヤの日」の活動紹介や交流を通して、新たな仲間と出会う場づくりをしています。



振り返り・懇親会

毎月、「大ナゴヤの日」授業の後に、その日の振り返りと懇親会を開催。2023年より、運営チームが発足し、毎回懇親会の内容を工夫しながら、関わるメンバーがゆるやかに集まる場をつくり続けています。



録年会

大ナゴヤ大学の1年を振り返り、記録するために毎年12月に開催。御器所にある神宮寺さんをお借りして、みんなで持ち寄った料理やお酒を楽しみつつ、1年を振り返りました。



2025年度 授業コーディネーターデビュー！

さくらさん

コーディネートした授業

なごやの日

～写真を通してなごやについて話そう！～

【気づきや感想】参加者の方を想像しながら、大好きな『なごや』と『写真』を組み合わせる企画しました。皆さんの温かいサポートのおかげで、緊張を抱えながらも迎えた当日は、多くのなごやの視点に触れ、貴重な経験となりました。

やまひさん

コーディネートした授業

しんだらどうなる？どうありたい？

～みんなでかんがえ、はなす、人生のおわりと今～

もしバナゲームを使って

もしもの時の自分の気持ちを考えてみませんか？

【気づきや感想】“死”の捉え方は本当に多種多様で、年齢や経験などによってその捉え方は変化していくのだと改めて実感しました。亡くなることを誰も経験したことがないからこそ、自由に話して考えられたらいいなと思いました。

開校16周年授業を開催！

大ナゴヤ大学の開校16周年に合わせて、2025年9月の大ナゴヤの日に「学ぶことのおもしろさってなんだろう？」をテーマに3つの授業を開催しました。会場は名古屋大学内にある、共創の場「Common Nexus(コモネ)」。

1限目は“学び続ける人・学びの場をつくる人”の話を聞いてみんなで考える授業、2限目は「まちシル」にちなんで“まちを知り、暮らすこと”にスポットを当てた授業、3限目は生き方/働き方を見つめ直す「LIFE SIGHT」のキックオフ授業でした。

学ぶことで人生が豊かになったり、人とのつながりが広がるきっかけになったり。それぞれが学ぶことのおもしろさを考え、持ち帰る1日になりました。



寄付について

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、授業における講師謝礼等に充てさせていただきました。

サポーター費用

年間サポート	ワンタイムサポート
500円/月 1,000円/月 2,000円/月	指定なし

About

まちシル

歩くまちには、何がある？

紹介ページへ



歩くまちには、何がある？

まちを知る楽しさを体感できる、まち歩き形式のプロジェクト「まちシル」。個性ゆたかな案内人たちの視点を借りてまちを歩けば、視界はもっと鮮やかに広がるはず。ただ暮らしているだけでは見落としてしまうような、身近に散らばる「おもしろい」を、実際に歩いて見つけます。

2025年度実績 開催数 **10** コース

2025年度の「まちシル」コース一例

自分たちの手で暮らしをおもしろく変化させるまち、
各務原・那加公園エリア
～空き家をDIYして生まれた「まちの交民館」や
緑の広がる公園も～

◎開催日時|2025年5月31日(土)13時30分～16時 ◎教室|各務原・那加公園エリア
◎先生|葉山瑛介 / PEP UP CIRCLE 共同代表／まちの交民館 十' |TEN 番頭

古材や古道具の活用を手がける「PEP UP CIRCLE」の葉山瑛介さんに、リノベーションで変化するまち、各務原・那加公園エリアを案内いただきました。まちに生まれた拠点や緑の広がる公園を巡り、自分たちの手で暮らしをおもしろくする視点や、場づくりについてなど話をお聞きました。



編集者視点で深掘る!多治見ディグ旅
～まちの“いま”をつくる店・人を訪ねて、
オリジナルマップをつくろう～

◎開催日時|2025年12月14日(日)13時～15時30分
◎教室|多治見駅周辺
◎先生|笹田理恵 / 編集する人、ライター、dig代表

多治見に移住し「編集する人・ライター」として活動されている笹田理恵さんとともに、まちのお店や人を訪ねながら自分だけのマップを制作しました。やきもの作家さんに出会えたり、タイルを使った風景が見られたりと、やきもののまち・多治見らしい日常を感じることができました。



まちシルプロジェクト運営チームが発足しました！

これまで、「まちシル」「やっとかめ文化祭 旅するなごや学」「城子屋」の企画・運営は、それぞれ別のチームとして活動してきましたが、あらためて“「まちを楽しむ」を日常に。”をテーマに掲げ、一つのチームとしてまとめました。

やっとかめ文化祭
旅するなごや学

企画・運営
32 コマ

まちは新しい発見に満ちた、生きた教科書。一期一会の物語に会い、知られざる歴史を訪ね歩き、なごやを学ぶプログラム。



主催：やっとかめ文化祭実行委員会

城子屋
shirokoya

運営
3 コマ

企画・運営
3 コマ

名古屋城を、まちの人にひらかれた学びの場に。歴史や芸能、文化、そして最新の考古学まで、多様な視点から名古屋城や尾張藩を知るプログラム。



主催：名古屋城

「まちシル部員」を募集しました！

「もっといろんな人に”まちを知る楽しさ”を伝えたい!」という思いから、まちシルと一緒に運営しながら楽しさを伝えるボランティアスタッフ「まちシル部員」を募集しました。「まちシル部員」の名前には、同じサークルのメンバーのように、わたしたちとともにまちを楽しむ仲間になってほしいという思いを込めています。

今回、5名の方とご一緒させていただくことになり、2026年3月にオリエンテーション、4月より活動がスタート。これから事務局メンバーとともにまちシルを盛り上げていきます！



食ゼミ



大ナゴヤ大学の通常講座「マルシェ・ジャポンでカービング体験」に参加した学生からの声で2010年3月に結成された食ゼミ。農業、調理、社会見学など、メンバー各自が興味のある分野で活動しています。2025年度は、食ゼミ公式イベントを3回開催することができました。2026年度も引き続き、ゆるゆると活動していきます。興味のある方は、メンバー登録のうえ、是非ご参加ください。



地球の生物部



「地球の生物部」は、まちの一角にある植栽スペースで毎月第1木曜の朝8時から1時間ほど、花植えや草取り、水やりなど植物のお世話をしています。公共空間を自分たちで楽しく手入れすることで、自分のまちに関心をもってもらきっかけの場をつくっています。



生物庭手入れ：
第1木曜8:00～9:00頃
(自由参加)
生物庭の場所：
地下鉄矢場町駅4番出口を南へ。
若宮大通久屋 交差点付近

郡上大和 酒づくり研究会

岐阜県郡上市大和で、メイドイン・オールグジョーナ酒づくりを応援。2025年も田植えと収穫に参加してきました。関わりが深くなるにつれて、土地の歴史や風土にも興味が湧いてきて勉強中。豊かな自然と綺麗な水で作られるお酒の出来上がりが楽しみです。美味しいお酒になりますように！



大ナゴヤノート、

まちを見つめて 書きとめて

webサイト



「大ナゴヤノート」は、エディターたちが見つけたまちの面白いヒト・モノ・コトを、率直な言葉で記事にするメディアです。エディターの学び合いの場にもなっています。フィールドワークに出かけるオープンノートも企画。2025年度は、記事を3本掲載、オープンノートを1回開催しました。



はたらく課



webサイト



そんな“はたらく”との出会い

出会いという言葉には、人との出会いだけでなく、「めぐりあい」という意味もあります。はたらく課は“はたらく”とのめぐりあいを生み出す活動です。いろんな“はたらく”を知ること、これからの人生が変わっていくかもしれません。大ナゴヤ圏のはたらき方、生き方にスポットをあて、“はたらく”を通じて人とまちをつなげています。

まちの人と一緒につくる

大ナゴヤ大学が培ってきた、
まちの魅力を掘り起こして場をつくる力、多様な人と人をつなげる力。
それらを必要とくださる人たちと一緒に、
新たな事業も生み出し、育て続けています。



やっとかめ
文化祭
芸どころ・旅どころ・なごや

都市を、耕す。あいだで、遊ぶ。
ODORIBA
踊り庭

城子屋
shirokoya



SOCIAL TOWER
PROJECT

About

 やっとかめ文化祭 DOORS

名古屋の歴史・文化と出会う

2013年にスタートした、名古屋の歴史や芸能、まち文化を一堂に集める祭典「やっとかめ文化祭」。大ナゴヤ大学は2015年から、名古屋市などで構成される実行委員会の一員として参加。事務局運営に加え、「旅するなごや学」の企画・運営も担当し、2025年度は全32コマを実施しました。これからも、まだ知らない名古屋と出会える学びの場をつくっていきます。

Webサイト

主催：やっとかめ文化祭実行委員会
※DNUは実行委員会の一員として参加



都市を、耕す。あいだで、遊ぶ。

ODORIBA
踊り庭

都市を、耕す。あいだで、遊ぶ。

都市を観察し、狂言やDJ、衣食住、様々な文化の過去から現在地までが交わる空間(庭)を生み出すODORIBA。やっとかめ文化祭のDNAを受け継ぎつつ、新たな文化形成や暮らしへの問いかけに挑戦しています。今年は新たなコンテンツとして焼き物文化を取り入れ、ものをつくる体験に触れてもらいました。また、SRTとコラボしてまちを巡り楽しむ企画づくりにも派生しました。

Instagram

主催：やっとかめ文化祭実行委員会
※DNUは実行委員会の一員として参加



城子屋 shirokoya

名古屋城を学びの場に

名古屋城を、江戸時代の「寺子屋」のように地域に開かれた学びの場とするプロジェクト。名古屋城調査研究センターと大ナゴヤ大学が、多彩なテーマと名古屋城をかけ合わせた講座を実施しています。2025年度は、やっとかめ文化祭連動企画を含めて6講座を開催。戦時中の名古屋城炎上、義直公と儒学、三の丸遺跡の発掘調査、障壁画に描かれた異国などの内容を取り上げました。

レポート

主催：名古屋城
企画・運営：DNU



 SOCIAL TOWER PROJECT

名古屋のまちに新しいカタチの“社交場”を

2012年に始まった「SOCIAL TOWER MARKET」は、春と秋のオアシス21や10月の名古屋城など、年5回の開催を通じて“日常の社交場”づくりに取り組んでいます。昨年からはボランティアスタッフによるシルクスクリーン出店も加わり、活動の幅がさらに広がりました。これからも、みなさんの素敵な笑顔とともに、自分たちの街をより魅力的にする活動を進めていきます。

Webサイト

主催：ソーシャルタワープロジェクト
※DNUは実行委員会の一員として参加



MINATO FINDER
みなとファインダー

あるいて、みつける、みなとのいいね

名古屋市港区役所が主催する、まちの魅力を見つけ、発信する事業の運営に携わりました。まちの日常に入って暮らしや文化を楽しむ「暮らし観光」をテーマに、「MINATO FINDER」と題した企画を実施。写真家のMOTOKOさん、山形でまちづくりを実践する追沼翼さんを講師に迎え、午前は暮らし観光について学び、午後はまちの魅力を写真におさめるフィールドワークを行いました。

Webサイト

主催：名古屋市港区役所
企画・運営：DNU



「お城note」とのコラボ企画を開催

「名古屋城の見えるまち」をテーマに、名古屋城のWebメディア「お城note」と2つのコラボ企画を開催。1つ目はInstagram参加企画、2つ目は2026年1月の大ナゴヤの日に開催したコラボ授業。「“名古屋城の見えるまち”で半日旅！みんなで城見えスポットを探しに行こう」と題して、3チームに分かれてまちなかから見える名古屋城を探す旅に出かけました。

お城note コラボ記事

主催：名古屋城
企画・運営：DNU



ワタシの気づき、変化



おまきちゃん

おまきちゃんの歩み @DNU
2025.4 ボラスタ説明会参加、ボラスタ登録
2025.7 先生、ボラスタとしてデビュー

自分の小さな好奇心を大切にできるようになった

- A1. 授業の先生として声をかけてもらった際に、「自分の経験や知識が役に立つのだろうか」と不安でした。授業をしてみたら、参加者さんがそれぞれの視点で言葉を受け取り、学びとして持ち帰る姿を見ることができ、自分にとっては当たり前のことでも誰かに伝えることで価値や意味を持つのだと気づくことができました。
- A2. 自分の中の小さな好奇心を大切にできるようになりました。これまでは興味はあっても「何の役に立つのか分からない」ものを学ぶことは後回しにしていました。大ナゴヤ大学で自分の「好き」や「気になる」を大切にしてくれる仲間や場所に出会い、価値観や興味が広がり、やってみたいと感じたことを行動に移せるようになりました。
- A3. 自分の「ちょっと気になる」「なんとなく好き」を共有できる機会は、意外と少ないように感じます。だからこそ、知識やスキルを身につけるだけでなく、日常の中の小さな興味や好奇心を持ち寄って、人がゆるやかにつながる場をつくっていきたいです。

大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワークのさまざまな
場面で活躍する人たちにお話を聞いてみました。それ
ぞれにどんな変化が訪れたのでしょうか。

- Q1. 活動を通して、どんな「気づき」がありましたか？
Q2. あなたの「暮らし」「考え方」「行動」に起きた変化は？
Q3. これからどんな活動をしていきたいですか？

文化に触れて、 名古屋が“好きなまち”になった

- A1. 転勤で初めて暮らす名古屋。引っ越し後まもなく、まちを歩いていたらやっとかめ文化祭の「辻狂言」に出くわしました。まちなかで本格的な狂言が見られることに感動し、こんな風に伝統芸能を身近にしてくれる名古屋が一気に好きになりました。はじめは参加者として、翌年に大使となり、今では事務局として名古屋の文化を楽しんでいます。
- A2. やっとかめ文化祭では、座学やまち歩き、舞台観劇など様々な楽しみ方があります。普段は歩かない路地や見慣れない景色、非公開の場所や料亭にもお邪魔できるので、期間が終わってからもご挨拶がてら再訪しています。まちに知り合いがたくさんでき、特に和菓子屋さん巡りをするのが趣味のひとつになりました。
- A3. 主にやっとかめ文化祭DOORSの事務局として、名古屋の文化を皆さんと楽しんでいきたいです。期間中にしか出会えない景色や体験を通して、見えていなかった名古屋の奥深さを分かち合いたいです。



ニワさん

ニワさんの歩み @DNU
2014.10 やっとかめ文化祭に参加
2015.10 やっとかめ大使となる
2016.10 やっとかめ文化祭の事務局となる



ヨコさん

ヨコさんの歩み @DNU
2018.6 授業に初参加
2019.8 やっとかめ大使となる
※やっとかめ文化祭のボランティアスタッフ
2021.6 ボラスタ登録
2023.4 やっとかめ文化祭DOORSの事務局となる

足元にある名古屋の魅力を再発見できた

- A1. 名古屋で生まれ育ったにもかかわらず、自分はまちのヒト・モノ・コトについて知らないことばかりだったと気づきました。やっとかめ文化祭に関わるようになり、芸どころならではの伝統文化、まちに息づく歴史にふれる機会が一気に増えました。地元で長年活動されている方々と出会うたびに「こんな世界が身近にあったのか」と驚かされます。
- A2. 何気なく通っている暗渠の道筋、まちなかの高低差や石碑など、これまで素通りしていたものに自然と足が止まるようになりました。一つの場所にも地形・歴史・暮らしといった複数のレイヤーがあると気づくようになり、足元にある地元の魅力を再発見しています。
- A3. やっとかめ大使の担当をしているので、より多くの方に活動を楽しんでもらえる仕組みづくりに取り組みたいです。関わった方が「来年もまた参加したい!」と笑顔で言ってくれる、そんな循環を生み出していくのが理想です。やっとかめ文化祭を知らない方にも魅力を届けて、新しい出会いの入り口を広げていきたいと思います。

「小さな参加でも意味がある」と感じる事ができた

- A1. これまでの私は、活動に興味はあっても自分にできることが分からず、一歩を踏み出すことに迷いがありました。大ナゴヤ大学には「できる範囲で関わればいい」「分からないことは聞いていい」という空気があるので、行動のハードルが下がりました。「小さな参加でも意味がある」と感じられたことが、大きな気づきでした。
- A2. 多様な仲間と活動し、家庭や職場では得られない人間関係や社会活動の経験をすることができました。各自が無理なく役割を担う姿に触れたことで、「完璧でなければ」という思い込みが和らぎました。その結果、生活範囲以外のことにも関心が広がり、自身の興味を起点とした発信や挑戦に前向きになるなど、人間として成長することができました。
- A3. これまでの体験を土台に、自分なりの関わり方を続けていきたいと思います。小さな行動でも積み重ねることで、人とのつながりや新しい視点が広がっていく。その実感を大切にしながら、無理なく一歩を重ねていきたいです。



おうやんさん

おうやんさんの歩み @DNU
2016 授業に初参加
2022 ボラスタ登録
2024.11 授業コーディネーターデビュー

大切な部分は残しながら変えていく

「大ナゴヤの日」の活動は、運営体制を見直す中で、少しずつ新しい動きが生まれ、新たに関わるメンバーも増えてきました。一方で、「みんなでつくる」場であり続けるためには、特定のメンバーだけに負担が偏らないよう役割を分担しながら、日々の活動を継続していくことも必要です。開かれた場であることと、運営を続けていくこと。そのバランスを模索しながら活動を続けています。

「まちシル」「旅するなごや学」「城子屋」の企画チームを一つにまとめ、それぞれの経験や視点を持ち寄りながら、「まちを楽しむ」が日常になることを目指した新たな活動ビジョンをつくりました。

理事長
大野 高明



過去から学び、新たな学びの場をひらく

ODORIBAのチャレンジも3年目。焼き物、茶、農、伝統芸能など、私たちが生活する地域に宿る文化に注目し、その魅力を知り、どうしたら他者に伝わるのか考え続ける1年でした。

過去から学び、新たな問いを投げかけることの難しさや、新たな出会いをつくることの面白さは何事にも変えられません。

大ナゴヤ大学のつくる授業も同様です。地域に宿る文化や伝統を掘り下げようと調べれば調べるほど、連綿と続いてきた先人たちのチャレンジに舌を巻かずにはいられません。現在の私たちの挑戦が誰かにとってのきっかけとなり、いつか次に続く誰かにつながるように学びの場をつくっていきたいです。

理事
山田 卓哉



未知との出会いも、日々の振り返りも大切に

2025年もたくさんの方と一緒にまちを面白がり、楽しむ時間を過ごせたことを心より感謝いたします。新しい仲間が増え、新しいテーマの授業が企画され、この1年も大ナゴヤの日のスローガンである、「まだ見ぬ、面白いと出会う」機会をいただきました。関わる人によって発見、変化といった学びの刺激が生まれる大ナゴヤ大学のコミュニティ。その魅力を学生やボランティアスタッフとして体験してもらえる人が増えるよう、引き続き学びの輪を広げていきたいです。

16周年授業では「学ぶことのおもしろさ」について語りました。普段はなかなか意識しない各々の学びの意義を問うことも大切だと思います。自分の日常を省みて、気づきを得る場もつくっていったら。

理事
小林 優太



大ナゴヤ大学サポーター

サポーターの皆さまからいただいた寄付金は、事務所家賃・サーバー費・電話代・第2土曜に開催される授業の講師謝金などに充てさせていただきました。

	2023年度	2024年度	2025年度
月額・年額サポーター	13名	12名	12名
ワンタイムサポーター	1名	1名	10名
受取会費	137,571円	130,111円	574,838円

活動報告

活動計算書(会計期間:2024年4月1日～2025年3月31日) (単位:円)

		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
経常収益	①受取会費	160,116	137,571	13,0111	574,838
	②受取寄付金	96,534	521	7,554	35,626
	③事業収益	26,911,297	24,152,934	24,867,252	27,025,749
	④その他収益	34	15,032	13,542	10,226
経常収益合計		27,167,981	24,306,058	25,018,459	27,646,439
経常費用	①事業費	19,313,248	17,021,088	17,307,530	21,140,207
	②管理費	7,640,993	7,081,380	7,563,568	7,785,977
経常費用合計		26,954,241	24,102,468	24,871,098	28,926,184
当期経常増減額		213,740	203,590	147,361	▲1,279,745
法人税等		71,000	71,000	71,000	71,000
当期正味財産増加額		142,740	132,590	76,361	▲1,350,745
前期繰越正味財産額		4,896,883	5,039,623	5,172,213	5,248,574
次期繰越正味財産額		5,039,623	5,172,213	5,248,574	3,897,829

2025年度の経常収益は27,646千円、経常費用は28,926千円でした。増収となりましたが将来を見据え職員の採用もあり、当期経常増減額は▲1,350千円となりました。

フォロー・登録してね

SNSでも
大ナゴヤ大学の
情報を発信!



Facebook



X



Instagram



YouTube



大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク 2025年度活動報告書

Dai Nagoya University Network
ANNUAL REPORT
2025

進行：菅原春香
制作：COUPGUT

特定非営利活動法人 大ナゴヤ・ユニバーシティ・ネットワーク
〒460-0011名古屋市中区大須3-42-30 ALA大須ビル201 (事務局所在地)
TEL 070-5459-8213 E-mail dai-nagoya@univnet.jp
dai-nagoya.univnet.jp